

## 令和5年度 第3回神奈川県立生田高等学校学校運営協議会結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立生田高等学校学校運営協議会
開催日時	令和6年3月22日（金）15時00分～16時50分
開催場所	神奈川県立生田高等学校小会議室
出席者 （役職名）	<p>学校運営協議会委員</p> <p>米山 福吉（多摩区長沢地区自治会長）          原山 修（多摩区長沢商店会長）          中村 隆英（川崎市立生田中学校長）          脇本 健弘（横浜国立大学教職大学院准教授）          嶋田総太郎（明治大学理工学部教務主任・電気電子生命学科・教授）          飯沢 知久（本校PTA会長）          布川 勝也（本校校長）</p> <p>齋野 保史（川崎市立稗原小学校長）          ※所用のため欠席</p> <p>本校職員</p> <p>小原 正寛（副校長）          杉山 崇裕（教頭）          檜垣 桜子（事務長）          根津 玲子（総括教諭・学習支援Gリーダー）          橋本 未来（総括教諭・進路支援Gリーダー）          石原 和彦（総括教諭・生活支援Gリーダー）          宇都宮 亘（総括教諭・生徒活動支援Gリーダー）          鯨吉 剛（総括教諭・研究開発Gリーダー）          牧野 篤敬（総括教諭・管理・運営Gリーダー）</p> <p>品田 直樹（記録 教諭・研究開発G）          森安 翔（記録 教諭・研究開発G）          川名 慶（記録 教諭・研究開発G）</p>
次回開催予定日	令和6年6月
問合せ先	<p>担当者名 神奈川県立生田高等学校 研究開発G 鯨吉剛</p> <p>電話番号 044-977-3800</p> <p>FAX番号 044-976-9398</p>

審議(会議)経過	<p>学校保健委員会（司会：石原）</p> <p>○校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の中で、学校保健委員会についても整理させてもらった。</li> <li>・本校では働き方改革も踏まえて、学校運営協議会にプラスする形で設置した。</li> </ul> <p>○担当養護教諭、生徒保健委員長、副委員長から報告を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の準備、片付け、体育祭に向けて熱中症予防の啓発、熱中症指数記録などを行った。</li> <li>・今後は、健康促進ウィークを実施して、啓発していきたい。</li> </ul> <p>○質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康促進ウィークの具体的なイメージはあるか。</li> </ul> <p>→睡眠不足からくる免疫力低下があったので、呼びかけ等を行っても良いのではと思い提案した。</p> <p>○校長より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これをきっかけにして、新たなアイデア等があれば提案して、生徒と地域で活性化していけばよいのではないか。</li> </ul> <p>議事（司会：教頭）</p> <p>1 開会（PTA会長）</p> <p>○お忙しい中ご参加いただき感謝する。</p> <p>○各分科会で計画を立てて実行していただいたものの報告となる。忙しい中での資料の作成に感謝する。保護者・地域の目線で意見があれば述べさせていただく。</p> <p>○生田高校の方針がぶれていないことが大事だと感じる。変化の大きい世の中の情勢がある中でぶれないことを大事にしていることは大切なことだと思うので、このまま続けてほしい。</p> <p>2 校長挨拶</p> <p>○年度末のお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>○学校の方は、入学者選抜、卒業式を無事終え、本日、修了式、離・退任式を行いました。</p> <p>○入学者選抜の方は、WEB出願、インターネット出願ということで、初年度で、システム不具合もあり、中学3年生の皆さん、中学校の先生方には大変なご負担をおかけいたしました。</p> <p>○24日の修了式では、能力伸長・生田メソッドの中の自学自習に焦点をあて、部活動も自学自習であることを生徒に訴えました。部活動の時間帯のほとんどは勤務時間外です。この勤務時間外の労働で、校長が先生方をお願いしているのは、「自主性、主体性、自立心、自律性を育ててください。」「生徒の安全・安心を確保してください。」この2点だけです。あとは、皆さん自身で何とかしてくださいと訴えました。働き方改革という単語は使いませんでした。部</p>
----------	--

	<p>活動は働き方改革の本丸ということですが。</p> <p>○それでは、本日の本題に入ってまいりましょう。本日の本題は、1年間の本校の取組を委員の皆様にご報告し評価していただくこと、また、令和6年度から9年度の4年間の計画についてご意見をいただくことが主眼となっております。忌憚のないご意見をお願いいたします。私の方からは以上です。</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 令和5年度学校評価に係る実施報告について</p> <p>○資料に基づき、各グループより説明を行った。 (委員より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiの回線を絞る理由は何か。</li> </ul> <p>→スマートフォン(以下スマホ)だけではなく、生徒が持っている一人一台端末の利用拡大を図りたいためである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究について、令和7年からの理数探究は今の総合的な探究の時間を置き換えるということか。スムーズに進みそうか。</li> </ul> <p>→来年度以降教科書の選定などを行っていく予定である。今の探究をベースにして、理数的な手法を活用しながら、仮説を立てそれを検証していくという探究の方法を学んでいく。</p> <p>(校長より)</p> <p>○令和7年の教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度から新カリキュラムが始まっている。令和3年に理数教育の指定校になることが決まり、令和3・4年度はカリキュラムに手を付けられず、令和5年度の検討でまとまり、令和7年度開始で進めていく形にした。スムーズに進めることができたのは、自然科学コースが廃止にはなったが、その取組を継続したこと、文理両道を進めたことが要因だったと思う。</li> </ul> <p>○ICT利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホの利用が進んでいたために、うまく切り替えができていなかった。スマホではできないことを一人一台端末を使って行う。大量の資料読解や文章を書くことなどで活用を図りたい。</li> </ul> <p>○防災教育のより実践的な取組とはどのようなことを考えているか。</p> <p>→例えば、地震の場合には、校庭に避難せず、怪我の対応や連絡系統に関する訓練をするなどである。</p> <p>(1) について、委員から了承を得た。</p> <p>(2) 理数教育推進に係る実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業を行ったほか、教員研修、探究的な学びについてのディスカッションを行った。高大連携に生徒が参加し、明治大学の特別講義を受けた。また、自然科学教室の実施や、校外学習で科学未来館を訪れるなど、理数教育への興味・関心を高める取組を行った。</li> </ul>
--	---

(2) について、委員から了承を得た。

(3) SSH指定に向けた取組の進捗状況について

○資料には、本年度のまとめと次年度への取組を記載した。企業連携を進めて、探究活動を進めていく予定である。また、令和7年度の実施に向けての検討も進めていく。第1回の運営協議会で示した内容から、DXハイスクールの申請を行ったことが新しく加わった点である。この申請が通ったのちは、ハード面の充実を進め、より充実した理数探究基礎、理数探究に向けての取組を進めていく。

(校長より)

○本校が令和7年12月に申請するとなれば、令和6年4月から新課程での取組を進めることができるので、説得力のある申請ができる。

(3) について、委員から了承を得た。

(4) 「4年間の目標」に対する取組の達成度評価について

○資料は4年間の目標に対して取組の状況とその理由を記載している。当該グループから説明を行った。

- ・卒業生の進路について、安全志向だったのはなぜか。
- 来年から新課程で共通テストの試験科目に情報がある。高校入試もコロナ禍で安全志向だった影響があるのではないか。

(4) について、委員から了承を得た。

(5) 令和6～9年度学校教育計画

○学校教育目標について

- ・学校のミッションについては、神奈川県から示されているものである。
- ・令和5年度までの学校教育計画には3本柱があった。グランドデザインには「生田メソッド」の考え方を加えて発展させている。一人一台端末の有効活用などが課題になっている。
- ・4年間の目標と主な方策については、今までの内容を発展させる形で生田メソッドに令和の日本型教育の考え方を加えたものである。
- ・次年度の推奨端末には、タッチペンを導入することになっている。プリント等についても、PDFなどで、ペーパーレスにすることを検討している。

(6) スクールポリシー

- ・令和5年度までのものに改良を加えている。

	<p>(7) グランドデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(5)(6)をまとめて可視化したものである。 (委員より)</li> <li>・現状に合った内容になっていると思う。本人の希望に沿った進路の実現のことが反映していてとても良いと思う。</li> </ul> <p>(5)～(7)について、委員から了承を得た。</p> <p>○委員の方から一言ずついただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の美化活動について、全学年で行ってもらえるのは嬉しい。 1年生で1回だけだと、後の地域との関わりは登下校で終わってしまうが、3回やると地域の場所も分かるので、地域との交流に期待する。</li> <li>・にこにこハーモニーについては、今後、状況が変わっていくことが考えられるが、ぜひアイデアをお願いしたい。</li> <li>・にこにこハーモニーやオータムフェスタの司会を放送部が頑張っていた。地元行事にも参加したいとのことなので、ぜひお願いしたい。</li> </ul> <p>→にこにこハーモニーは、働き方改革の視点から考えても、土日に制約があるので難しい。高校の部活動で参加していくなど、規模を縮小していくことも検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車についての罰則の対策は何か考えているか。</li> </ul> <p>→ルールテストを実施しているが、罰則があることなどに鑑みて、入学時だけでなく、再度行うなど検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でできなかったことを再開する難しさは中学校も同じである。SNSなどの情報モラル教育もきめ細やかに対応されていることを知ることができた。アンケートの結果を見ると中学校の段階では目標が決まっていない生徒も多いので、高校でしっかりとしたキャリア教育が実践されているのは素晴らしいと思う。</li> <li>・明治大学との連携が深まってきているのはいい流れだと思う。</li> <li>・SSHの指定に向けて、確実に進んでいて素晴らしい。指定を受けるに当たり、何を特色にするのかを検討する必要がある。どこに特色を持ってどういう生徒を育てるか、差別化を図るかが大事だと思う。</li> </ul> <p>→自然科学を中心に進めていくこと、自然科学コースから続けてきている流れを見据えて進めていくことも検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの利活用について、マルチデバイスの中でパソコンに集約させる必要はないのではないか。対話はスマホ、資料はパソコン、会議はタブレットなど無意識で使い分けている。一つに集約せずに適宜使い分ければよいと思う。生徒と対話しながら検討すれば、自然</li> </ul>
--	--

	<p>と生田高校らしい、生徒に寄り添った利活用に繋がるのではない か。</p> <p>4 その他 特になし</p> <p>(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホでできることをパソコンでやろうとは思わない。パソコンでなければできないことを積極的に行うということである。</li> <li>・日ごろの教育活動は、委員の皆様の応援によって進めることができているので、感謝したい。</li> <li>・地域美化活動は引き続き推進したい。</li> <li>・にこにこハーモニーの開催形態については、調整しながら良い形を見つけたい。</li> <li>・今後も明治大学との連携を進めたい。</li> <li>・探究の発表は意欲的で、内容に自負があることが感じられた。仮説を立て検証するという流れができるようにしていくのが課題である。</li> <li>・SSHの特色について、自然科学は今までの財産で、重要視することだと思う。皆さまからヒントを得て検討していきたい。</li> </ul> <p>5 閉会（PTA会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような場で、たくさんの大人が子供たちのことを考えて色々なことを話しているということ保護者・生徒にはもっと知って欲しい。</li> </ul> <p><b>【部会】</b></p> <p>○それぞれの部会で次のような内容について話し合った。</p> <p>(生徒と地域の連携部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との関わりについて</li> <li>・来年度の地域清掃について</li> <li>・にこにこハーモニーについて</li> </ul> <p>(理数教育・ICT利活用推進部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動の現状について(理数探究基礎/理数探究の設置に向けて)</li> <li>・探究を通して何を育てるか、生田の強みや特色は何かを検討する必要がある。</li> </ul>
--	--